

# 会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	令和7年度 第1回姫路市特別支援教育推進会議
2 開催日時	令和7年7月14日(水曜日) 15時00分~16時30分
3 開催場所	姫路市立総合教育センター 大会議室
4 出席者又は欠席者	(出席者) 委員18人 (事務局) 7人 育成支援課特別支援教育係係長、育成支援課指導主事 6人
5 次第	1 開会挨拶 2 委員紹介 3 報告 姫路市の特別支援教育について 4 議事 今年度の方向性 5 事務連絡 6 閉会挨拶
6 会議の内容	以下のとおり

事務局	<p>○特別支援教育に関する国及び県の動向</p> <p>令和4年4月 特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について (文部科学省通知)</p> <p>令和6年3月 兵庫県特別支援教育第四次推進計画の策定(兵庫県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育システムの理想の現実に向け「縦横連携」を一層推進していく。</li> </ul> <p>○姫路市の特別支援教育について</p> <p>市立小・中・義務教育学校の特別支援教育について(令和7年5月1日現在)</p> <p>特別支援学級数310学級</p> <p>特別支援学級在籍児童生徒数 1,574人</p> <p>通級による指導を受けている児童生徒369人</p> <p>通級による指導教室36教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自閉症情緒障害と知的学級の在籍児童生徒数が右肩上がり。</li> <li>・学級数においても、自閉症情緒障害と知的障害の学級数が増加の一途。</li> <li>・特別支援学級担任の特別支援教育経験年数の割合は、未経験がほぼ20%、経験年数3年以下が50%以上を占める。</li> </ul> <p>通級による指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数は増加の傾向にある。</li> </ul> <p>姫路市医療的ケア看護師派遣事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日複数回訪問と常駐の2パターンで看護師対応している。</li> </ul> <p>○昨年度からの引継ぎ事項と取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別支援教育ソフト導入に関するトライアルの実施</li> <li>2 はぐくみ相談室との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はぐくみ相談室支援者振り分けカンファレンス及び担当者連絡会</li> </ul> </li> <li>3 教育支援(連携支援)の再構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理発達検査の有効期限の見直し</li> <li>・特別支援学級から通常学級へ転籍する手続きの簡略化</li> </ul> </li> <li>4 次年度以降の姫路市特別支援教育推進会議のあり方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校園における特別支援教育に関する担任のスキルアップなどをより強固なものにしていくための会議</li> </ul> </li> </ol>
-----	--

	<p>○課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 文科省通知「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について」への対応</li> <li>2 特別支援教育について経験の浅い教員（特別支援学級担任経験の浅い教員）へのサポート</li> </ol> <p>○課題の解決に向けた取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実態把握と児童生徒にとって適切な学びの場となっているのかを確認する。</li> </ul> </li> <li>2 教育支援ソフトのトライアル 市内の5校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データに基づいたアセスメントや個別最適な学びの支援が有効活用できるか検証する。</li> </ul> </li> <li>3 他課との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程を受け持つ学校指導課とのさらなる連携をはかる。</li> <li>・教育研修課と連携して経験の浅い教員に対して実施している研修を充実させる。</li> </ul> </li> <li>4 作業部会での情報整理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画の書き方の共通認識をはかる。</li> <li>・自立活動を充実するための手立ての活用促進をはかる。</li> </ul> </li> </ol> <p>各委員からの意見</p>
委員	<p>○5歳児健診について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所だけではなく、医療福祉、教育全てが一緒になる体制を整えて支援をしていく必要がある。</li> <li>・小学校に上がってからもスクールカウンセラーや巡回相談を活用して、継続的にお子さんについて保護者支援を続けていく体制が必要である。</li> <li>・保護者の理解や受け入れに時間がかかる場合もあり、子供たちが小学校に進学しても継続的な支援が必要であるという課題がある。</li> </ul>
委員	<p>○特別の教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級在籍児童生徒については、各学校から 1 人 1 人の教育課程が出されている。</li> <li>・1 人 1 人の発達段階に応じた指導となるようにしていきたい。</li> </ul>
委員	<p>○特別な支援を必要とする児童生徒について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な児童生徒が増えている。</li> </ul>

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な教育課程、個別の指導計画を組んで、子供たちに支援を行っている。</li> </ul> <p>○特別支援学級の担任について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員不足は、姫路市でも喫緊の課題である。</li> <li>・必要な児童生徒に必要な指導が受けられる体制をしっかりと作っていく。</li> </ul>
委員	<p>○特別支援学級の担任者研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回実施(4月、夏季休業の期間)を継続している。</li> <li>・実践発表や交流を行い、担任同士の繋がりをつくる。</li> </ul>
委員	<p>○特別支援担任者会の試みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同の研修会を開くことで、横の繋がりと縦の繋がりをつくっていくことで、個々の児童生徒の9年間の連携支援と個別最適な指導方法を確立していきたい。</li> <li>・経験年数の浅い先生が経験豊富な先輩の先生たちにアドバイスをもらいながら悩みを解決していこうとする試みを進めていく。</li> </ul>
委員	<p>○高等学校の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートファイルの引き継ぎや試験のサポート、不登校や課題に直面した生徒への支援をしている。</li> <li>・放課後に時間を設けて週1、2回通級指導しているという話もある。</li> <li>・サポートが必要な生徒について、サポートファイルの引継ぎにより大学での支援が充実している。</li> </ul>